

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A152A/J	Rev.	第1版
題名	30240 グループ USB AUTOSET 機能の使用上の注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	30240 グループ	対象ロット等	関連資料		

上記適用製品に内蔵されています USB 機能において、使用上の注意事項がありますのでご連絡いたします。

【使用上の注意事項】

エンドポイント 1~4 の IN 転送(送信)を行う場合、以下の条件で使用すると、稀 (1) に送信出力されない場合があります。

条件 (下記 、 を組み合わせた条件)

- USB エンドポイント xIN 制御/ステータスレジスタ (EPxICS) の AUTO_SET ビットを許可 (AUTO_SET 機能許可)
- USB エンドポイント xIN 最大パケットサイズレジスタ (EPxIMP) への設定値が、対応するエンドポイントの FIFO 容量の 1/2 以下の場合 (ダブルバッファモード)

なお、上記 の のいずれかでも一方でも条件に満たない場合は、この注意事項に該当しません。

- 1 . ホストによる IN トークン発行頻度にも依りますが、数万~数十万パケットに 1 回程度の頻度 (目安) です。

上記条件に該当し、かつシステムにおいて、上記現象が問題となる場合は、

AUTO_SET 機能を使用しない (パケットの準備完了は、ソフトウェアにより EPxICS レジスタの IN_PKT_RDY ビットをセットすることによりマニュアル操作する)

または、

該当するエンドポイントに対する FIFO について、ダブルバッファモードを使用せず、シングルバッファモードとして FIFO を使用する。 (EPxIMP レジスタへの設定値を、FIFO 容量の 1/2 より大きい値に設定する)

のいずれかの対策を行ってください。